

第3回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議

長野国道事務所作成

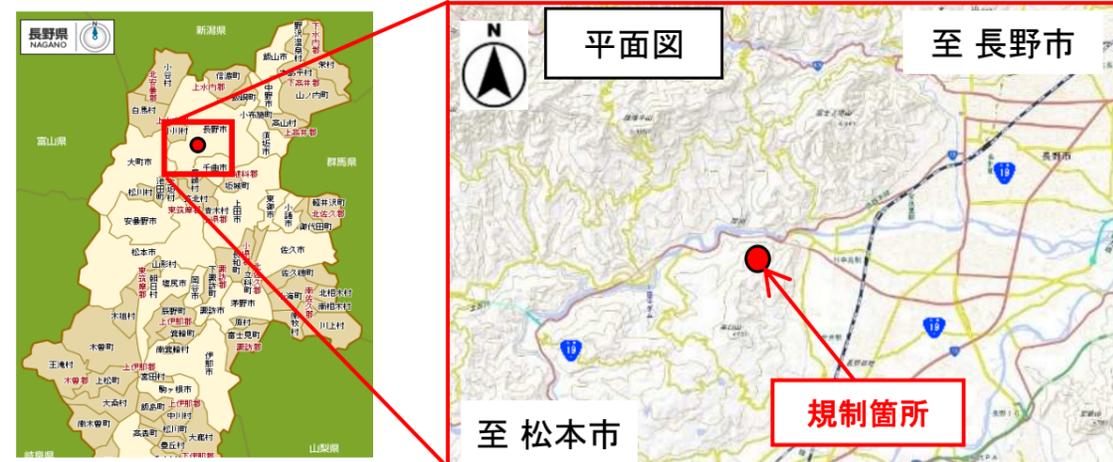
■概要(経緯)

- ・令和3年 7月 6日 7:00頃 長野市篠ノ井小松原において地すべりが発生、現地確認
14:20 国道19号への影響が懸念されたため全面通行止め
- ・令和3年 7月 7日 長野国道、長野県、国土技術政策総合研究所、土木研究所との合同現地踏査、意見交換会を実施。計測機器の設置
- ・令和3年 7月 9日 応急復旧工事開始
- ・令和3年 7月13日 応急復旧工事完了
- ・令和3年 7月13日 第1回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会
第1回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議
- ・令和3年 7月14日 6:00 昼間(6:00~21:00)片側交互通行規制に移行
- ・令和3年 8月14日 9:20より、降雨により伸縮計の計測値が2.0mm/hを超過したため
全面通行止めを実施し16日16:00に通行止めを解除
- ・令和3年10月10日 規制区間延長の短縮(L=300m→L=230m【70m短縮】)
- ・令和3年11月 8日 第2回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会
第2回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議
- ・令和3年11月19日 21:00より24時間(終日)片側交互通行規制に移行
- ・令和3年12月17日 規制区間延長の短縮(L=230m→L=180m【50m短縮】)
- ・令和3年12月24日 第3回国道19号長野市篠ノ井小松原地区地すべり対策検討委員会
第3回長野県長野市篠ノ井小松原地区地すべり連絡調整会議

■現地写真(対策工事内容)



■位置図



■工程(案)

対象	対策区分	作業項目	R3年度										
			7	8	9	10	11	12	1	2	3		
国	応急復旧	①H鋼横矢板、②大型土のう・土留め工・落石防護柵工、プルシート工、⑤各種機器設置	[Progress bars]										
		②大型土のう・土留め工・落石防護柵工	[Progress bars]										
	仮復旧	⑥強靱ワイヤーネット工	[Progress bars]										
		⑦侵食防止シート工	[Progress bars]										
		⑩排土工	[Progress bars]										
	追加対策	⑧足場工	[Progress bars]										
		⑨H鋼杭(抑止杭)工	[Progress bars]										
		⑩排土工	[Progress bars]										
	長野県	本復旧	③水抜き横ポーリング、④仮排水	[Progress bars]									
			⑪集水井工	[Progress bars]									
⑫頭部排土工			[Progress bars]										
		⑬鋼管杭工	[Progress bars]										

※各対策の着手時期及び交通開放は、気象等の影響による排土工の遅延や排土工の進捗状況等を踏まえ学識者の意見を伺って決定予定。

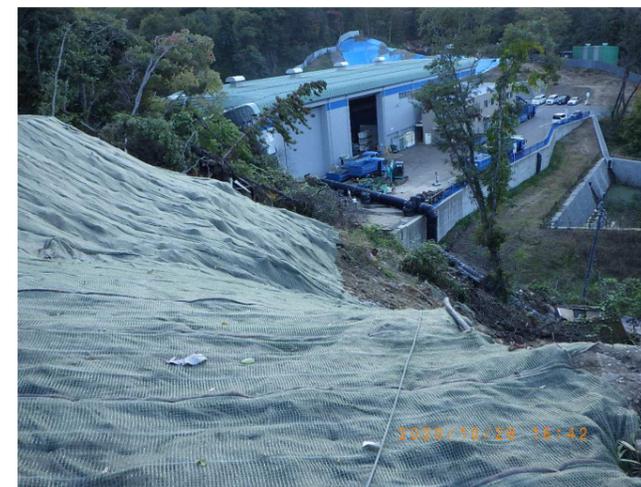
■全面交通開放への移行について

- ・上記工程の⑩のうち一番不安定な部分の土砂等を撤去した段階で全面交通開放を行います。
- 【全面通行止めを行う基準】
 - ①地すべり箇所に設置した伸縮計で2.0mm/h以上の変位量を計測した場合
 - ②長野国道の設置した雨量計で60分雨量が20mmもしくは連続雨量が80mmを超えた場合
 - ③監視カメラによる監視で異常が確認された場合
 ※緊急自動車及び路線バスも通行不可とします。
- 【全面交通開放への再移行について】
 伸縮計の変位量が2.0mm/h未満かつ降雨量2.0mm/h以下を3時間連続して計測し、現地の点検等で安全が確認できた段階で全面交通開放へ移行します。
 ※緊急自動車及び路線バスについては2.0mm/h未満となった時点で通行出来るものとします。(通行可能となった時点で長野国道より通行可能な旨連絡します。)
- ・国で実施する追加対策が完了する見込みの令和4年1月末頃の時点で、専門家の意見を伺いつつ安全性を評価し、終日対面通行(全面開放)への移行日を判断いたします。

■現地写真(対策工事内容)



排土 (施工中)



表面浸食防止工 完了



強靱ワイヤーネットの施工完了

- 7月6日 地すべり発生 14:20より全面通行止め
- 7月14日 昼間(6:00~21:00)片側交互通行規制開始
- 10月18日 防災・減災対策等強化事業推進費 10億円
- 11月19日 24時間(終日)片側交互通行規制開始

【現在までに実施済みの対策】

- ・H鋼杭+鋼矢板 ・大型土嚢 ・ブルーシート設置 ・落石防護柵
- ・コンクリート板破碎 ・計測機器及びカメラ
- ・表面浸食防止 ・強靱ワイヤーネット

【現在実施中の対策】

- ・抑止杭工・排土

【今後の予定】

より安全性を高める更なる対策工事として抑止杭工・排土を予定しています。



現地監視状況